

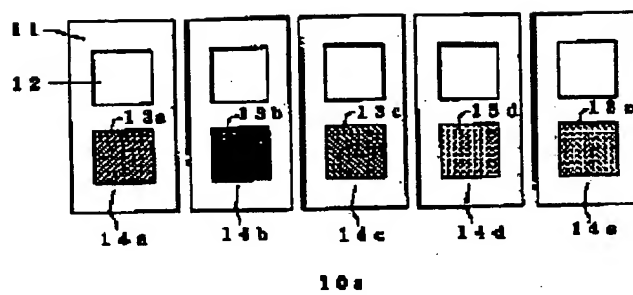
COLOR SELECTION TOOL FOR FOUNDATION

Patent number: JP9133584
Publication date: 1997-05-20
Inventor: YANAGII KAZUHIKO; MINAMI KOJI; KOJIMA NOBUTOSHI;
INOUE YAYOI
Applicant: KAO CORP
Classification:
- international: G01J3/52
- european:
Application number: JP19950317572 19951109
Priority number(s):

Abstract of JP9133584

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a tool for enabling a user to select a foundation optimal to her skin conveniently in a short time by formed a skin observation opening and a color mark part independently on a basic material sheet such that they do not surround each other.

SOLUTION: The tool 10a comprises a skin observation openings 12 made in a basic material sheet 11, and tool pieces 14a-14e including color mark parts 13a-13e of different color, formed for respective color of color mark parts 13a-13e. The tool 10a is applied to a skin which is then observed through the opening 12 using a mirror and a foundation having color closest to the color of skin is selected from the color mark parts. The openings 12 and color mark parts 13a-13e are formed independently while being spaced apart and the skin exposed through the opening 12 is framed, along with each color mark part, by means of the sheet 11 thus facilitating the comparison of color.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-133584

(43) 公開日 平成9年(1997)5月20日

(51) Int.Cl.⁶

G 0 1 J 3/52

識別記号

庁内整理番号

F I

G 0 1 J 3/52

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 7 F D (全 6 頁)

(21) 出願番号

特願平7-317572

(22) 出願日

平成7年(1995)11月9日

(71) 出願人

000000918

花王株式会社

東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号

(72) 発明者

楊井 一彦

東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会社
社研究所内

(72) 発明者

南 浩治

東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会社
社研究所内

(72) 発明者

小島 伸俊

東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会社
社研究所内

(74) 代理人

弁理士 田治米 登 (外1名)

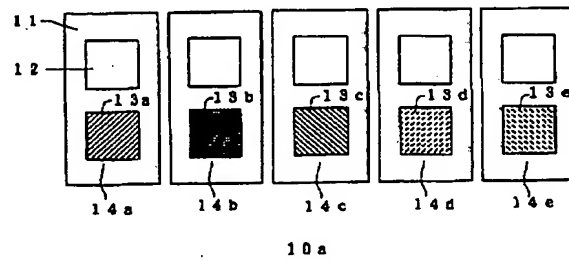
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ファンデーション用色選びツール

(57) 【要約】

【課題】 ファンデーションの使用者が、自分の皮膚に最適な色のファンデーションを正確にかつ短時間に選択することを可能とするファンデーション用色選びツールを提供する。

【解決手段】 ファンデーション用色選びツール10aが、基材シート11内に形成された皮膚観察用開口部12及び所定色の色票部13a～13eからなり、基材シート11内において皮膚観察用開口部12と色票部13a～13eとが、互いに他方を囲むことなく、独立的に形成されている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 基材シート内に形成された皮膚観察用開口部及び所定色の色票部からなり、基材シート内において皮膚観察用開口部と色票部とが、互いに他方を囲むことなく、独立的に形成されていることを特徴とするファンデーション用色選びツール。

【請求項2】 基材シート内において皮膚観察用開口部と色票部とが離れている請求項1記載のファンデーション用色選びツール。

【請求項3】 基材シート内において皮膚観察用開口部と色票部とが当接している請求項1記載のファンデーション用色選びツール。

【請求項4】 一つの基材シートに、皮膚観察用開口部及び所定色の色票部が一つずつ形成されたツール片が、色票部の色ごとに独立的に形成されている請求項1～3のいずれかに記載のファンデーション用色選びツール。

【請求項5】 一つの基材シートに、皮膚観察用開口部及び所定色の色票部が一つずつ形成されたツール片が連続的に形成されている請求項1～3のいずれかに記載のファンデーション用色選びツール。

【請求項6】 色票部が、基材シートに形成された色票部用開口部とその背後をスライドする色票板からなり、色票板には互いに異なる複数の色の色票領域が形成されている請求項1～3のいずれかに記載のファンデーション用色選びツール。

【請求項7】 色票部が、基材シートに形成された色票部用開口部とその背後を回転スライドする円板状の色票板からなり、色票板には互いに異なる複数の色の色票領域が配列されている請求項1～3のいずれかに記載のファンデーション用色選びツール。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ファンデーションの使用者が、自分の皮膚に最適な色のファンデーションを簡便に選択できるようにするためのファンデーション用色選びツールに関する。

【0002】

【従来の技術】一般に、ファンデーションを用いて化粧する場合、当該皮膚色に対して適切な色のファンデーションを使用しないと、化粧の仕上がりが不自然になる。そこで、ファンデーションの使用者にとって、自分の皮膚色に合った色のファンデーションを選択することは重要である。

【0003】しかし、ファンデーションの使用者が、市販されている数多くの色のファンデーションの中から、自分に合ったファンデーションを自ら選択することは容易でない。例えば、店頭で、見本用ファンデーションの少量を手の甲等に塗布してみることはできても、手の甲と顔面とは皮膚色が異なるので、そのファンデーションを顔面に塗布して化粧した場合の化粧肌色を予測するこ

とはできない。

【0004】そこで、従来よりファンデーションの使用者が、自分に合った色のファンデーションを簡便に選択できるようにするために、次のような種々のファンデーション用色選びツールが使用されている。

【0005】図10のツール1aは、互いに色の異なる複数の色票2a、2b、2c、2d、2eにそれぞれ柄部材3を取り付けたものである（図10(a)）。このツール1aの使用法としては、まず、同図(b)に示したように、ファンデーションの使用者Pが色票2a～2eを一枚ずつ皮膚に当て、鏡4を見ながら自分の皮膚色に最も近い色の色票を選ぶ。一方、各色票2a～2eが選ばれた場合に最適なファンデーションの色は何であるかという関係は予め調べておき、このツール1aの使用者Pにわかるようにしておく。そこで、使用者Pは自分の皮膚色に最も近い色の色票を選んだ後、各色票2a～2eとファンデーションの色との関係に基づいて、最適なファンデーションを選ぶことができる。

【0006】図11のツール1bは、互いに色の異なる複数の色票2a～2eを長方形とし、この長方形の色票2a～2eの内部に開口部5を形成したものである。このツール1bを使用する場合にも、ファンデーションの使用者は色票2a～2eを一枚ずつ皮膚に当てる。そして、開口部5を通して観察される自分の皮膚色と色票2a～2eの色とを対比し、自分の皮膚色に最も近い色の色票を選び、選んだ色票に基づいてファンデーションの色を選ぶ。

【0007】図12のツール1cは、円板内を扇形に区切って互いに異なる色の色票2a～2eを形成すると共に、円板の中心部に円形の開口部5を開けたものである。このツール1cを使用する場合にも、ファンデーションの使用者はこのツール1cを皮膚に当て、開口部5を通して観察される皮膚色と各色票2a～2eの色とを対比する。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述のようなファンデーション用色選びツールを使用する場合に、ツールの各色票の中から自分の皮膚に最も近い色を正確にかつ短時間に選択することは容易でないという問題があった。

【0009】本発明は、このような従来技術の課題を解決しようとするものであり、ファンデーションの使用者が、自分の皮膚に最適な色のファンデーションを簡便に短時間に選択できるようにするためのファンデーション用色選びツールを提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】本発明者は、従来のファンデーション用色選びツールにおいては、いずれも互いに色を対比する皮膚と色票との面積や形状が大きく異なるために、本来対比すべき色以外の情報が視覚に入り、

互いの色の異同が判断しづらくなっていること、これに対して、基材シート内に皮膚の観察用開口部と色票部とを独立的な領域として形成し、一方が他方に囲まれることのないようにすると、対比する皮膚と色票との面積や形状を、色の異同の判断に支障をきたさない程度に同一にできることを見出し、本発明を完成させるに至った。

【0011】即ち、本発明は、基材シート内に形成された皮膚観察用開口部及び所定色が付与された色票部からなり、基材シート内において皮膚観察用開口部と色票部とが、互いに他方を囲むことなく、独立的に形成されて

いることを特徴とするファンデーション用色選びツールを提供する。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の態様を図面に基づいて具体的に説明する。なお、各図中、同一符号は同一又は同等の構成要素を表している。

【0013】図1は、本発明の一態様のファンデーション用色選びツール10aの説明図である。

【0014】このツール10aは、基材シート11に形成された皮膚観察用開口部12と互いに色が異なる各色の色票部13a、13b、13c、13d、13eとからなるツール片14a、14b、14c、14d、14eが、色票部13a～13eの色ごとに形成され、これら全体で一つのツール10aをなしているものである。

【0015】このツール10aは、図11又は図12に示した従来のファンデーション用色選びツール1b、1cと同様に、ツール10aを皮膚に当て、鏡を見ながらツールの皮膚観察用開口部12を通して皮膚を観察し、その皮膚色と色票部13a～13eの色とを対比し、自分の皮膚色に最も近い色の色票部を選び、選んだ色票部に

基づいてファンデーションの色を選ぶ。

【0016】しかし、この図1のツール10aでは、基材シート11内において、皮膚観察用開口部12と各色票部13a～13eとが別個の離れた領域に独立的に形成されており、皮膚観察用開口部12が色票部13a～13eの領域内には形成されていない点で、図11や図12に示した従来例と大きく異なる。したがって、このツール10aでは開口部12を通して見える皮膚と各色票部13a～13eとが共に基材シート11で枠状に囲まれることとなるので、両者の色の対比が容易になる。

【0017】開口部12と各色票部13a～13eとの形状に関し、図1には両者とも正方形に形成した例を示したが、本発明においてはこれに限らず、長方形その他の多角形、円、楕円等とすることができる。この場合、開口部12を通して観察される皮膚と各色票部13a～13eとの色の対比を容易にする点からは、両者の形状を同一にすることが好ましい。

【0018】また、開口部12と各色票部13a～13eとの大きさは、色の対比観察を容易に行えるようにする点から、通常は、0.2～20cm²が好ましく、

0.4～4cm²がより好ましい。また、開口部12と各色票部13a～13eとの大きさは、それらの差が大きくなりすぎると開口部12を通して観察される皮膚と各色票部13a～13eとの色の対比がしにくくなるので、面積比率が1:4～4:1の範囲とすることが好ましく、同一面積とすることがより好ましい。

【0019】各色票部13a～13eには、印刷等によりそれぞれ所定の色を付与するが、この場合の色の種類は、図1には5種の例を示したが、これに限らない。このツール10aを用いて色を選択する当該ファンデーションが保有する色の種類等に応じて適宜定めることができる。通常は、2～10種程度の色の色票部を形成することにより、適切にファンデーションを選択することができる。

【0020】一方、基材シート11は、プラスチック板、紙、金属板等から形成することができる。基材シート11の形状や大きさについては特に制限はないが、取扱性の点から、通常3～100cm²程度の矩形とすることが好ましい。また、図2に示したように、各ツール片14を構成する基材シート11に柄15を形成してもよい。

【0021】基材シート11の色は、開口部12を通して観察される皮膚と各色票部13a～13eとの色の対比を容易にする色が好ましく、例えば、白色、灰色等とすることが好ましい。また、基材シート11は単一色から形成するだけでなく、図3のように観察用開口部12及び色票部13の周縁に接する縁どり11aを基材シートの本体部分11bと別個の色で形成してもよい。例えば、基材シートの本体部分11bを白色とし、縁どり11aを黒色とすることにより、観察用開口部12を通して見える皮膚と色票部13との色の対比を、縁どり11aを形成しない場合に比して一層容易に行えるようになる。

【0022】図4は、異なる態様の本発明のファンデーション用色選びツール10bである。上述の図1には、一つの基材シート11に皮膚観察用開口部12及び所定色の色票部13a～13eを一つずつ形成したツール片14a～14eを、色票部の色ごとに独立的に形成したファンデーション用色選びツール10aを示したが、本発明においては、図4のファンデーション用色選びツール10bのように、これらツール片14a～14eを連続的に形成した構造としてもよい。この場合、各ツール片14a～14eの接続部分は折れ線16とし、これらを容易に折り畳めるようにすることが取り扱い上好ましい。

【0023】図5は、さらに異なる態様の本発明のファンデーション用色選びツール10cである。このツール10cは、色票部13が基材シート11に印刷等により形成されているのではなく、基材シート11に形成された色票部用開口部17とその背後を矢印のように直線的

にスライドする矩形の色票板18からなっており、この色票板18には、所定色の色票領域18a~18eが配列されている。したがって、色票板18をスライドさせて色票部用開口部17に各色票領域18a~18eが順次現れるようにすることにより、図1に示したツール10aと同様に、観察用開口部12を通して観察される皮膚色と色票部13の色とを対比することができる。

【0024】図6に示したツール10dは、図5に示したツール10cと同様に、色票部が、基材シート11に形成された色票部用開口部17とその背後の色票板19からなるが、色票板19が円板状であり、また、色票板19には複数の扇形の色票領域18a~18dが配列されており、色票板19が矢印のように回転スライドするものである。

【0025】これらの図5あるいは図6に示したツール10c、10dでは、皮膚観察用開口部12を通して観察される皮膚と色票部13との色を対比する場合に、色票板18、19に形成された複数の色票領域18a~18e、19a~19dのうち、基材シート11に形成された色票部用開口部17と重ならない部分の色票領域も視野に入ることとなるが、これを防止するために、基材シート11を大きく形成してもよい。例えば、図6に示したツール10dに対しては、図7に示したツール10eのように、シート状基材11を、円板状の色票板19の外形が覆われる大きさとする事ができる。

【0026】以上、図1~図7に示した本発明のファンデーション用色選びツールでは、いずれも基材シート11内で皮膚観察用開口部12と色票部13とが離れているが、本発明においては、以上の各態様において、基材シート11内で皮膚観察用開口部12と色票部13とを当接させてもよい。例えば、図1に示したツール片14aにおいて、観察用開口部12と色票部13aとを図8に示したように、両者が直線的に並ぶように配して当接させることができる。また、図9に示したように、皮膚観察用開口部12と色票部13aとを、これらが一点で接するように配することもできる。

【0027】このように、本発明においては、基材シート内に形成した皮膚観察用開口部12と色票部13とが、互いに他方を囲むことなく独立的に形成されている限りこれらの形成領域は自由に定めることができる。

【0028】

【発明の効果】本発明によれば、ファンデーションの使用者が、自分の皮膚に最適な色のファンデーションを正確にかつ短時間に選択することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のファンデーション用色選びツールの説

明図である。

【図2】本発明のファンデーション用色選びツールの説明図である。

【図3】本発明のファンデーション用色選びツールの説明図である。

【図4】本発明のファンデーション用色選びツールの説明図である。

【図5】本発明のファンデーション用色選びツールの説明図である。

10 【図6】本発明のファンデーション用色選びツールの説明図である。

【図7】本発明のファンデーション用色選びツールの説明図である。

【図8】本発明のファンデーション用色選びツールの説明図である。

【図9】本発明のファンデーション用色選びツールの説明図である。

【図10】従来のファンデーション用色選びツールの説明図である。

20 【図11】従来のファンデーション用色選びツールの説明図である。

【図12】従来のファンデーション用色選びツールの説明図である。

【符号の説明】

1a、1b、1c 従来のファンデーション用色選びツール

2 色票

3 柄部材

4 鏡

30 5 開口部

10a、10b、10c、10d、10e 本発明のファンデーション用色選びツール

11 基材シート

12 皮膚観察用開口部

13、13a、13b、13c、13d、13e 色票部

14、14a、14b、14c、14d、14e ツール片

15 柄

40 16 折れ線

17 色票部用開口部

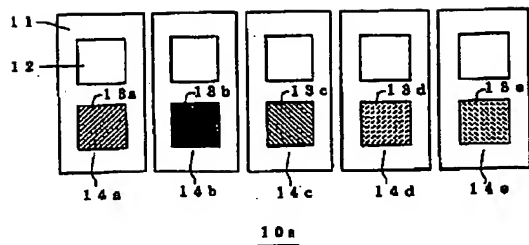
18 色票板

18a、18b、18c、18d、18e 色票領域

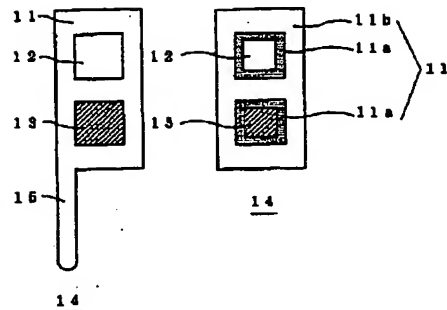
19 円板状の色票板

19a、19b、19c、19d 扇型の色票領域

【図1】

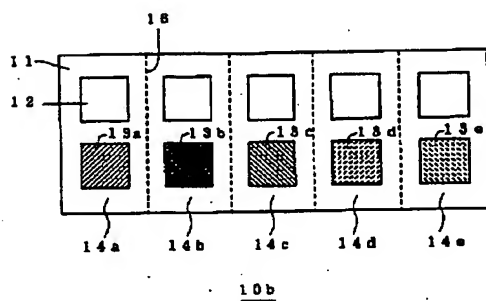


【図2】

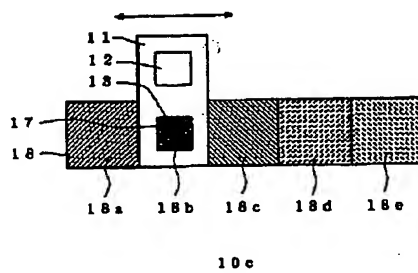


【図3】

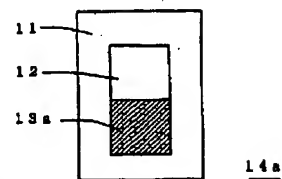
【図4】



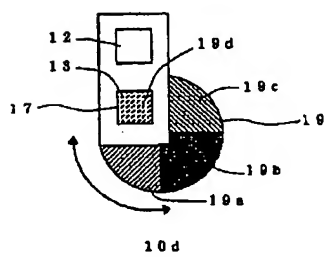
【図5】



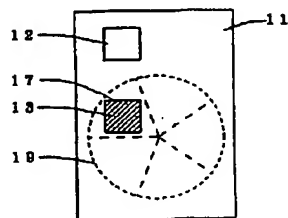
【図8】



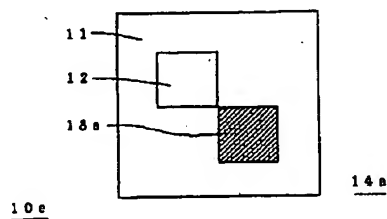
【図6】



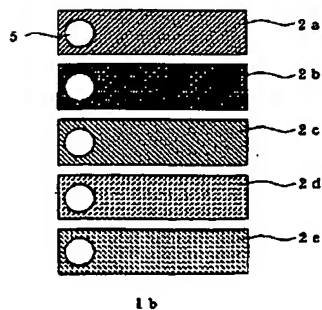
【図7】



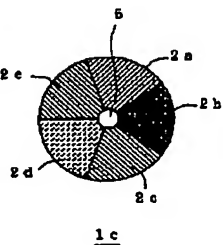
【図9】



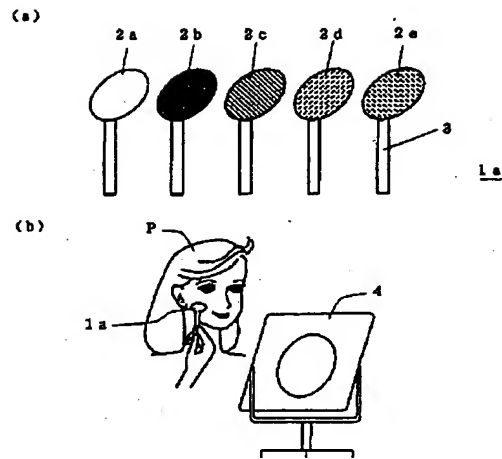
【図11】



【図12】



【図10】



フロントページの続き

(72)発明者 井上 弥生
東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会
社研究所内